

一般質問の通告について

発言順

7

平成25年 5月 28日
(西暦2013年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井亨

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. ちゃんと開かれた学校づくりを実践しませんか	
(1) 教育委員会の役割とあり方について質問します	
・教育委員会委員の選出基準について	
・教育予算を決める際に教育委員会の意思をどう反映させているか	
・月1回数時間の開催で討議や審議の十分な時間が取れているか	
・教育委員会が政策決定できるための事務局の役割について	
・傍聴者が毎回皆無であることの見解とその影響、今後の対策	
・保護者や地域住民が委員になれる仕組みを検討しませんか	
(例：中野区の人材登録方式)	
(2) “開かれた学校づくり”の取組みについて質問します	
・小金井市が目指す“開かれた学校”とは具体的にどういうビジョンなのか	
・“開かれた学校”の実現によって、子どもや地域住民にどう良い効果をもたらすのか	
・各小中学校で開催されている学校運営連絡会の開催状況	
・学校運営連絡会と学校運営協議会(コミュニティ・スクール)制度の違い	
・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)制度を小金井市で導入しない理由	
「質問意図」	
教育委員会が本来の役割を担えていないのではないか。情報公開度も低く	
意思決定機関としての教育委員会の姿とその実現に向けての取り組みを模索したい。	
また、「開かれた学校づくり」はこれからの学校づくりにとって重要な取組であるといえるはず。	
現段階の取組状況とその評価、また将来的なビジョンと具体策について聞きたい。	

表題及び質問の具体的内容	備考
2. 設計ミスの第3次行財政改革大綱を見直しませんか	
(1) 実施目標の設定基準と設定プロセスを確認したい	
(2) 現在の進捗状況とその分析、今後の見通しはどうか	
(3) 「市民協働」「公民連携」を大きなコンセプトにしていたはずだが、どう取り組んだのか	
(4) 行政診断報告の「職員への意識共有が充分ではない指摘」についての見解を聴きたい	
(5) 小学校給食調理業務民間委託の説明会での保護者の反応について	
《質問意図》	
プロジェクトを進める上で大切な目標設定及び進捗管理、すなわちP D C Aを	
うまく運用できているのか。	
3. なぜ、「市長への手紙」は回答率が低いのか	
(1) この施策の目的と内容、かけるコストと見合っているのかの検証はどうか	
(2) 調査結果をどう捉え市政に反映させるのか、今後のプロセスを具体的に聴きたい	
《質問意図》	
ずっと回収率（回答率）が低い。この施策自体の市としての位置づけと、	
事業目的と内容と結果がしっかり整合性がとれているのかを確認したい。	
また、こういった定量的な調査と並行して定性的な意向を聴く「ふれあいトーク」というイベントも	
実施していたはずだが、その取組の検証はどうなっているのか。市民の意向を聴く取組の	
有用性とコストパフォーマンスを鑑みてやり方を見直すべきではないか	